

5 健康管理

(1) 定期健康診断について

- ・4月から6月にかけて定期健康診断を実施します。
発育測定(身長・体重) 視力・聴力・校医検診(内科・歯科・耳鼻科・眼科)
心臓検診(心電図) 腎臓検診(尿検査) 結核検診 等
- ・疾病異常のある場合は「結果のお知らせ」に記入してお渡しします。早めに受診相談をしてください。
- ・全健康診断が終了したら、結果をプリントでお知らせします。
※昨年の就学時健康診断で疾病その他の異常が認められたお子様は、安心して入学するためにも治療を済ませておいてください。

(2) 予防接種について

- ・学校で行う予防接種はありませんが、入学前に接種すべきものが済んでいるかどうかを母子手帳等で確認してください。

(3) 感染症について

- ・感染症にかかったり、またはかかっているおそれがある場合は、適切な療養をし早期に治癒させるため、または他の児童への感染を防ぐために、「出席停止」としています。なお、この期間中は欠席の取り扱いとはなりません。医師から感染の危険がないと言われるまで登校を見合わせてください。
- ・学校への報告はすぐーるの「欠席・遅刻連絡」の備考欄にご入力をお願いします。
- ・学校への報告内容

①病名 ②症状 ③発症日 ④お休みする期間 ⑤受診した医療機関名

※インフルエンザの場合には①にインフルエンザの型(A・B)、④に解熱日もご記入ください。

- ・出席停止となる主な感染症名

インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 咽頭結膜熱(プール熱) 溶菌菌感染症
百日咳 結核 麻疹(はしか) 感染性胃腸炎(ノロウイルスなど) 手足口病
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 伝染性紅斑(リンゴ病) 風疹 流行性角結膜炎
ヘルパンギーナ マイコプラズマ感染症 アデノウイルス感染症
水痘(みずぼうそう) など

※「感染症に伴う出席停止について(オンライン申請)」はHPにも載せています。

(4) 学校の管理下でのけがについて

- ・世田谷区では、区立学校に在学するお子様の、学校の管理下での不慮の災害に備えて、独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を結んでいます。
- ・掛け金は、全額を区が負担し全員加入します。
- ・学校の管理下での事故や通常の経路及び方法での登下校中に負傷した場合に、その治療費・見舞金の給付が受けられます。詳細は同封の「学校でけがをしたときは・・・」でご確認ください。

(5) 学校での病気やけがについて

- ・早退や病院での受診が必要な場合は、ご家庭へ電話連絡します。
- ・早退の場合は、保健室(または教室)まで必ず保護者の方が迎えに来てください。
- ・状態によっては、ご家庭へ連絡のうえ、病院で受診する場合があります。

(6) 「保健調査票(秘)」の作成・提出について

- ・健康診断や緊急時の連絡等に使います。必ず連絡のとれる電話番号をご記入ください。
- ・毎年4月に記入し提出してください。
- ・年度の途中で、連絡先等の変更があった場合はご連絡ください。

(7) 給食における食物アレルギー対応について

- ・医師の診断に基づいて対応しますので、学校まで申し出てください。
- ・医師による「学校生活管理指導表」と、保護者の記入する「アレルギー対応申出書」「アレルギー調査書」を提出し、面談後対応します。
- ・原因食物を除去して対応します。また、原因食物が多く含まれる場合や給食室での除去が困難な場合には、一部または全部をお弁当として家庭より持参していただくことになります。

家庭における健康管理

入学当初は、お子様も心身ともに疲れます。健康で楽しい学校生活を送ることができるよう、ご家庭での健康管理をよろしくお願いします。

1 毎朝の健康観察

- ・お子様の様子を見て、熱がない場合でも体調がすぐれない場合には無理に登校させないでください。

〈顔色は良いか、元気はあるか、食欲はあるか、熱はないか等・・・〉

2 規則正しい生活

- ・1年生は、睡眠時間が10時間は必要です。
- ・夜は遅くても21時までには寝るようにしましょう。
- ・バランスのとれた朝食をしっかりととりましょう。
- ・排便の習慣を付けましょう。
- ・早起きをして余裕をもって朝食をとれば、食後10～15分で排便しやすい条件ができます。

3 疾病異常の早期治療

- ・定期健康診断などで疾病が見つかった場合には治療しましょう。特にむし歯は、放っておくと永久歯やあごの骨ばかりでなく、全身に影響を及ぼします。早めに治療しましょう。

4 よりよい健康習慣

- ・朝起きたら洗顔をしましょう。顔の皮膚への刺激は、頭が目覚めに役立ちます。
- ・食後の歯みがきを忘れずにしましょう。むし歯予防のために食後の歯磨きは大切です。
- ・ハンカチ・ティッシュを忘れずに持ちましょう。
- ・つめは短く切っておきましょう。
- ・石けんでの手洗いの習慣を付けましょう。